

2013年12月23日

関係 各位

日本医学会臨床部会運営委員会「遺伝子・健康・社会」検討委員会
委員長 福嶋義光

「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査」に関する最近の報道について

この度、新型出生前遺伝学的検査（NIPT）について、日本産科婦人科学会の指針*およびこれを支持する関連5団体の共同声明**を無視する形で、営業活動を行っている検査会社が出現し、医療機関に働きかけを行っているとのメディア報道がなされました。日本医学会臨床部会運営委員会「遺伝子・健康・社会」検討委員会としては、この事案は大変遺憾であり、かつ由々しき事態と捉えており、緊急に、以下の表明を行うものです。

記

1. 国内でNIPTを受託・実施する検査会社には、わが国の現状を十分理解の上、5団体共同声明**の趣旨を尊重し、上記指針*を遵守した事業活動を行われたい。

*日本産科婦人科学会「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査に関する指針」

http://www.jsog.or.jp/news/pdf/guidelineForNIPT_20130309.pdf

**日本医師会、日本医学会、日本産科婦人科学会、日本産婦人科医会、日本人類遺伝学会日本産科婦人科学会「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査についての共同声明」 http://jams.med.or.jp/rinshobukai_ghs/statement.pdf

以上